

はじめに

帝国データバンク史料館は2007年4月、信用調査の重要性を広く認識していただくことを目的として開設した。以来多くの方にご来館いただき、特別企画展や講演会を開催し、またお客さまと当館を結ぶコミュニケーション誌として『帝国データバンク史料館だより Muse』を季刊発行してきた。

本書は2012年より『Muse』の「別冊版」として刊行を始めた。第2弾となる『別冊 Muse 2013』は「産業文化博物館 広がる、重なる、繋がる」をテーマとし、企業系あるいは産業系博物館について、その取り巻く状況や、M (Museum) L (Library) A (Archive) の連携という無限の可能性を持った広がりや、インタビュー、寄稿、座談会で構成している。産業文化博物館が辿ってきた道のり、果たす役割、未来への期待が詰まった1冊となっている。

帝国データバンク史料館が開催する、日本の会社展第3回「企業博物館―逸品解題―」(2013年10月1日～12月1日)の開催に合わせて刊行した本別冊号が、産業文化博物館の姿を通して、アライプズが社会にどのように貢献し、生き、身近に存在するものなのか、お届けできれば幸いである。

2013年9月

帝国データバンク史料館

目次

はじめに

巻頭インタビュー 石川さゆりさん

唄からうたへ……。人からひとへ……。記憶をつなぎ、伝える心の旅…………… 6

インタビュー&対談

グローバル社会における産業文化博物館の連携と情報共有のあり方…………… 樺山紘一×森本祥子 16

いつでも、どこにも…、身近なアーカイブズ…………… 安藤正人×中臺綾子 28

新聞記者が見た！ ビジネスアーカイブズの世界…………… 松岡資明×松崎裕子 41

産業文化博物館として、渋沢史料館のこれまでとこれから…………… 井上潤×後藤佳菜子 53

特別論稿

イメージを演出する企業博物館…………… 高柳直弥 66

創発のプラットフォーム…………… 町田小織 72

Talk Session 白熱メッセージ 根本利之 松代隆子 布施直人 半田昌之

企業博物館の役割と社会的責任…………… 82

Muse Special Guest 末吉哲郎さん

薩摩隼人が歩んだM L Aの道 そのパワーと情熱の源を探る…………… 102